

市民病院 栄養管理室

栄養って体にとっても大切なことを
皆さんは知っていますか？
栄養を上手に取ることは、病気になりにくい体をつくり
元気に生活することに繋がります。
また病気になってしまった場合でも、
治療に役立つ栄養が十分に取れることが大切です。
栄養管理室では
病気の種類や体格など、
患者さんに合わせて
何十種類かの食事をお出ししています。

問合

市民病院管理課管理G
☎28-5151 (内線2201)



「栄養指導」

毎日上手に食べることは
なかなか難しいかもしれませんが、
少し気を付けるだけでも効果は上がります。
治療に役立つ上手な食べ方を、
患者さんに寄り添って相談していく
栄養指導を実施しています。

「栄養サポートチーム」

(通称：NST)
栄養の研修を受けた専門スタッフで
回診を行っています。
患者さんの栄養状態を改善することで
治療に貢献しています。





「糖尿病教室」

月に一度、患者さん・家族の方を対象に糖尿病教室を実施しています。医師・薬剤師・看護師・栄養士・リハビリスタッフが、糖尿病について分かりやすく説明しています。



当院オリジナルテキストは分かりやすいと好評です
(1冊500円で販売)

「行事食」

入院中でも、楽しくおいしく食べていただけるように様々な行事食を取り入れています。月に一度、手作りの和菓子もお出ししています。

私たちが心を込めて調理しています!



管理栄養士5名が在籍しています



【フレイル】

栄養士コラム

加齢とともに心身の活力(運動機能や認知機能)が低下し生活機能が障害されることをフレイルといいます。フレイルを放置しておくと、閉じこもりがちになり、活動量が落ちることで筋肉量が減少し、食欲も落ち低栄養になるという悪循環に陥ります。「食事を欠かさず、おいしく食べる」「できるだけ動く習慣をつくる」「はつらつとした気持ちで外に出て活動する」そんな毎日の心がけが、フレイルを予防し、長寿社会を幸せに生き抜くことに繋がります。やっぱり基本は、上手に栄養を取ることなんですよ。